

日本道德教育学会第 106 回（令和 7 年度秋季）大会プログラム

日本道德教育学会 会 長 貝塚 茂樹
第 106 回大会運営 委 員 長 柳沼 良太

日本道德教育学会会員及び関係各位におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、第 106 回（令和 7 年度秋季）大会を岐阜大学（柳戸キャンパス）で開催させていただき運びとなりました。多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

大会テーマ

道德科の効果的な指導法の探究 —学習指導要領改訂の動向をふまえて—

【大会テーマ設定の趣旨】

「特別の教科 道德」の設立時には指導法として、「読む道德」から「考え、議論する道德」への質的転換が目指されました。現行の学習指導要領においては、「資質・能力の 3 つの柱」と「教科固有の見方・考え方」を理論的ベースに、各教科・領域に共通した「主体的・対話的で深い学び」を導入することが目指されました。その 2 年前に改訂された道德科においても、「問題解決的な学習」や「道徳的行為に関する体験的な学習」を取り入れて、多様な指導法を取り入れることが推奨されるに至りました。その後、「令和の日本型学校教育」の構築を目指して各教科・領域では「個別最適な学び」や「協働的な学び」が重視され、近年では「探究的な学び」の拡充も図られています。

次期の学習指導要領においては、「考え、議論する道德」を徹底すると共に、各教科・領域と共通した効果的な指導法を道德科にも導入することが求められています。生成 AI や IoT などの先進テクノロジーが台頭し価値観が多様化・複雑化する Society5.0 の時代に、子どもたちが未来社会を切り拓き、よりよく生きる資質・能力を育成するために、道德科の指導法はどうあるべきかについて関心が高まっています。そこで、本大会では、「道德教育の効果的な指導法の探究—学習指導要領改訂の動向をふまえて—」とテーマを設定し、多様な見地から道德科の充実した効果的な指導法について吟味すると共に、その在り方を根本的に協働探究して研究協議を行いたいと思います。

【大会概要】

- 1 開催日： 2025（令和 7）年 11 月 29 日（土）・30 日（日）
- 2 会場： 国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学（柳戸キャンパス）
- 3 主催： 日本道德教育学会
- 4 共催： 国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学
- 5 後援： 文部科学省（申請中）、岐阜県教育委員会、岐阜市教育委員会
全国小学校道德教育研究会、全日本中学校道德教育研究会
全国公民科・社会科教育研究会
- 6 参加費： 会員・一般参加：4,000 円 / 学部学生：2,000 円
情報交換会費：6,000 円
- 7 参加申込： 日本道德教育学会のウェブサイトから、あるいは次の URL の Peatix（ピーティックス）<https://moraleducation106.peatix.com/view>
右の QR コードから参加申込をしてください。
大会参加の申込は、9 月 20 日（土）から 11 月 16 日（日）17:00 までです。
なお、大会当日の参加申込は、原則的にできません。事前申込にご協力ください。
- 8 大会事務局 岐阜大学大学院教育学研究科 柳沼良太研究室内
〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸 1-1
Email: jsmel106gifu@gmail.com 電話 058-293-2229 緊急時 090-5562-1015



大会日程

大会 1 日目 2025 年 11 月 29 日（土）	
9 : 30～ 10 : 00～12 : 00	大会参加受付 【 講堂 1 階 ロビー 】 岐阜大学教育学部附属小中学校「どう生きる科」を活かした道徳科授業 小学校と中学校の公開授業（録画）と研究協議 【 講堂 】 授 業 者： 干場 康平（小学校の部 3 年 2 組担任） 小泉 敦司（中学校の部 8 年 3 組担任）
12 : 00～13 : 00	昼食 【 工学部 1 階 講義室 】
13 : 00～13 : 20	開会行事 【 講堂 】
13 : 30～15 : 00	基調講演： 島 恒生（日本道徳教育学会副会長、畿央大学） 演 題： 「考え、議論する道徳科の効果的な指導法」 【 講堂 】
15 : 20～17 : 30	ラウンドテーブル 10 部会 【 工学部 講義室 】
18 : 00～20 : 00	情報交換会 【 岐阜大学生協 第二食堂 】
大会 2 日目 2025 年 11 月 30 日（日）	
8 : 30～ 9 : 00～12 : 00	大会参加受付 【 工学部 1 階 ロビー 】 自由研究発表（各発表：発表 20 分、質疑 10 分） 11 分科会 【 工学部 講義室 】
12 : 00～13 : 00	昼食・休憩 【 工学部 1 階 講義室 】
13 : 00～15 : 30	シンポジウム： 【 講堂 】 テーマ 道徳科の効果的な指導法の探究—学習指導要領改訂の動向をふまえて— コーディネーター： 柳沼 良太（岐阜大学） シンポジスト： 古見 豪基（埼玉県和光市第四小学校） 森 有希（高知大学） 早川 三根夫（前岐阜市教育長、岐阜大学） 貝塚 茂樹（日本道徳教育学会会長、武蔵野大学）
15 : 40～16 : 00	閉会行事 【 講堂 】

大会 1 日目【2025 年 11 月 29 日（土）】

■ 公開授業（10：00～12：00）

会場：講堂

岐阜大学教育学部附属小中学校「どう生きる科」を活かした道徳科授業

小学校と中学校の公開授業（録画）と研究協議

司 会：古賀 英一（元附属小中学校統括校長、岐阜大学）

全体説明：小笠原 淳（附属小中学校 教務主任）

授 業 者：干場 康平（小学校の部 3 年 2 組担任）

小泉 敦司（中学校の部 8 年 3 組担任）

■ 開会行事（13：00～13：20）

会場：講堂

- 1 会長挨拶 貝塚 茂樹（日本道徳教育学会会長）
- 2 開催校挨拶 吉田 和弘（岐阜大学学長）
- 3 大会運営委員長挨拶 柳沼 良太（第 106 回大会運営委員長）

■ 基調講演（13：30～15：00）

会場：講堂

島 恒生（日本道徳教育学会副会長、畿央大学）

演 題 「考え、議論する道徳科の効果的な指導法」

■ ラウンドテーブル＜10 部会＞（15：20～17：30）

会場：工学部 講義室

第 1 部会

【工学部 1 階 100 教室】

テーマ 「共感」と「ケア」を通じた道徳的価値観の形成—哲学、心理学、教育実践の視点からのランデブー—

企画者：白木 みどり（金沢工業大学）

司会者：白木 みどり（金沢工業大学）

報告者：大瀧 辰也（元・東京家政大学・非）

徳田 安津樹（東京大学大学院・院生）

平 真由子（金沢工業大学）

日向 正志（金沢工業大学）

第 2 部会

【工学部 1 階 101 教室】

テーマ 「どう生きるか」を主体的・協働的に探究する道徳科授業—「どう生きる科」を学校でどう活かすか—

企画者：柳沼 良太（岐阜大学）

司会者：萩野 奈幹（國學院大学）

報告者：山田 貞二（岐阜聖徳学園大学）

和田 誠司（東海学院大学）

片山 健治（岡山県立岡山大安寺中等教育学校）

木野 正一郎（IPU・環太平洋大学）

第3部会**【工学部1階 102教室】**

テーマ いじめを未然に防ぐ学校文化とは何か―道徳教育・学校経営・研究の連携による実践と省察から考える―

企画者： 阪本 景子（愛知県東海市立名和中学校）

司会者： 阪本 景子（愛知県東海市立名和中学校）

報告者： 松下 恭平（愛知県名古屋市立平針北小学校）

増田 千晴（愛知県江南市立宮田中学校）

田代 めぐみ（熊本県熊本市立河内中学校）

指定討論者：龍神 美和（桃山学院大学）

第4部会**【工学部1階 103教室】**

テーマ 道徳科授業における自己調整学習の可能性

企画者： 田沼 茂紀（國學院大學・名）

司会者： 田沼 茂紀（國學院大學・名）

報告者： 尾崎 正美（岡山県瀬戸内市立国府小学校）

治田 和也（千葉県流山市立おおぐろの森小学校）

田屋 裕貴（神奈川県相模原市立旭小学校）

及川 仁美（岩手県盛岡市立厨川中学校）

指定討論者：西野 真由美（東京家政大学）

第5部会**【工学部1階 104教室】**

テーマ 他人事が我が事、我が事が我ら事になる子どもの道徳学習―授業の「仕組み」と「仕掛け」を通して―

企画者： 幸阪 創平（東京学芸大学附属竹早小学校）

司会者： 幸阪 創平（東京学芸大学附属竹早小学校）

報告者： 佐藤 淳一（東京都町田市立相原小学校）

久我 隆一（東京都調布市立上ノ原小学校）

杉山 正磨（東京都武蔵野市立千川小学校）

古見 豪基（埼玉県和光市立第四小学校）

指定討論者：和井内 良樹（宇都宮大学）

第6部会**【工学部1階 105教室】**

テーマ 自己と社会のWell-Beingを目指した生き方や在り方を探究し続ける道徳的資質・能力の育成―プロジェクト型総合単元的道徳学習の多様な展開を通して―

企画者： 齋藤 道子（目白大学）

司会者： 齋藤 道子（目白大学）

報告者： 清水 勝平（茨城県つくば市立島名小学校）

木下 美紀（福岡県福津市立福岡南小学校）

黒須 紀子（千葉県船橋市立旭中学校）

齋藤 道子（目白大学）

指定討論者：押谷 由夫（昭和女子大学・名）

第7部会

【 工学部1階 106教室 】

テーマ 「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」を目指す道德教育の具体的実践

企画者： 高橋 史朗（麗澤大学）

司会者： 江崎 圭伊子（神奈川県川崎市立小杉小学校）

報告者： 早田 保美（神奈川県川崎市立栗木台小学校）

萩原 ゆかり（埼玉県さいたま市立辻小学校）

指定討論者1：寺澤 玲子（認定産後ドゥーラ）

指定討論者2：緒賀 正浩（明星大学・非）

第8部会

【 工学部1階 111教室 】

テーマ 教室から再構成する今後の道德授業とは—教育的意義と実践的可能性の再検討—

企画者： 丸岡 慎弥（立命館小学校）

司会者： 丸岡 慎弥（立命館小学校）

報告者： 大貫 翔貴（大阪教育大学附属池田小学校）

中野 浩瑞（大阪府箕面市立西小学校）

泉谷 量平（兵庫教育大学附属小学校）

末廣 彩華（大阪教育大学附属池田小学校）

清友 啓介（岡山県真庭市立落合小学校）

井口 裕也（和歌山県和歌山市立岡崎小学校）

廣瀬 圭佑（三重県三重郡朝日町立朝日小学校）

指定討論者1：門脇 大輔（日本体育大学）

指定討論者2：山田 貞二（岐阜聖徳学園大学）

指定討論者3：彦阪 聖子（大阪府堺市立市小学校）

第9部会

【 工学部3階 301教室 】

テーマ 教師の内容項目理解は道德授業にどのように作用するのか？

企画者： 市川 秀之（千葉大学）

司会者： 市川 秀之（千葉大学）

報告者： 市川 秀之（千葉大学）

瀬戸山 千穂（群馬県前橋市立粕川中学校）

宮崎 貴耶（大阪府枚方市立五常小学校）

指定討論者：高宮 正貴（大阪体育大学）

第10部会

【 工学部3階 302教室 】

テーマ 道德的行為に関する体験的な学習の可能性を探って②—演劇的手法と役割演技のちがいを明らかにする—

企画者： 佐々木 篤史（弘前大学教育学部附属中学校）

司会者： 谷口 雄一（摂南大学）

報告者： 佐々木 篤史（弘前大学教育学部附属中学校）

塩家 崇生（兵庫県伊丹市立鴻池小学校）

菅原 友和（上越教育大学上廣道德教育アカデミー）

丸山 大貴（上越教育大学上廣道德教育アカデミー）

指定討論者：鈴木 賢一（愛知県弥富市立十四山東部小学校）

大会2日目【2025年11月30日(日)】

■ 自由研究発表<11 分科会> (9:00~11:50)

会場：工学部 各講義

室

(各発表：発表20分、質疑10分)

第1分科会

司会：小池 孝範(駒澤大学)

【工学部1階 101 教室】

- 9:00~9:30 寺崎 賢一(元・都留文科大学・非)
カント道徳入門教材に最適—「よみがえった良心」—
- 9:35~10:05 洪山 昌雄(元・宮崎産業経営大学)
人間の尊厳と良心
- 10:10~10:40 安部 日珠沙(岐阜聖徳学園大学短期大学部)
道徳教育における人格の定義に関する一考察 その2
- 10:45~11:15 緒賀 正浩(明星大学・非)
「人格の完成」の最低限度について—南原繁の「誤認」を手掛かりに—
- 11:20~11:50 宮本 慧(関西外国語大学)
田島体験学校における修身教授改革—「物語科」に着目して—

第2分科会

司会：椋木 香子(宮崎大学)

【工学部1階 102 教室】

- 9:00~9:30 砂川 大輔(福岡県糸島市立可也小学校)
批判的思考からよりよい自己の生き方を考える道徳科学学習指導—問題解決力を育む解決志向型の学習過程を通して—
- 9:35~10:05 杉浦 浩(兵庫県神戸市立多聞の丘小学校)
「構成的グループエンカウンター」による道徳的行為の体験的な学習—価値理解道徳から<ありのまま>、そして<なりたいたい>自分への転換—
- 10:10~10:40 片山 健治(岡山県立岡山大安寺中等教育学校)
中学生を対象とした地域課題を題材とする問題解決型の道徳授業の構想とその教育効果の検証
- 10:45~11:15 ○小城 達(福岡県福岡市立周船寺小学校) / 山岸 賢一郎(福岡大学)
行為のよさについて考える道徳科の学習の類型化と実践—考える視点を明示化しながら—
- 11:20~11:50 ○黒坂 俊介(北海道岩見沢市立第二小学校) / 長谷川 元洋(金城学院大学)
QFT(質問づくり)による探究的な学習活動を取り入れた情報モラルの道徳科授業—道徳的判断、エージェンシーの育成を目指して—

第3分科会

司会：江島 顕一(麗澤大学)

【工学部1階 103 教室】

- 9:00~9:30 藤井 裕喜(京都府京都市立西賀茂中学校)
それでも自作教材を創る…「郷土愛」の教材を自作するなら
- 9:35~10:05 河野辺 貴則(四国大学短期大学部)
子どもの権利擁護を題材にした道徳教材開発に関する基礎的研究—「児童の権利に関する条約」との接合点に着目して—
- 10:10~10:40 須崎 大(一般社団法人マナーニ)
「生きた教材」との出会いから学ぶ—犬とのふれあいを生かし、生命尊重・他者理解をねらいとする手立てと教員による振り返り学習—

- 10 : 45～11 : 15 ○箱崎 由衣（東京都港区立筈小学校） / 根岸 陽月（東京都立川市立若葉台小学校）
子どもの主体的な自己の力を発揮させる道徳科授業の在り方—共同エンジェンシーとしての
教師の役割に着眼して—
- 11 : 20～11 : 50 中野 真悟（福島大学）
中学校道徳教科書における各教科等の場面が描かれた教材の特質

第4分科会

司会 : 秋山 博正（兵庫教育大学）

【工学部1階 104 教室】

- 9 : 00～ 9 : 30 清水 勝平（茨城県つくば市立島名小学校）
道徳科における思考と価値観の深化をもたらす問い返しのあり方—“伴走者”としての教師
の役割と子ども主体の学びをつなぐ実践的手法—
- 9 : 35～10 : 05 阪本 景子（愛知県東海市立名和中学校）
中学校道徳授業における心理的安全性と価値観転換—方法知を通じた熟議と学級文化の形
成プロセス—
- 10 : 10～10 : 40 谷口 雄一（摂南大学）
学習者主体の道徳科学習を探究する—「幸せ」についての単元学習を例に—
- 10 : 45～11 : 15 ○平 真由子（金沢工業大学） / 日向 正志（金沢工業大学）
道徳科授業と心理的ウェルビーイングの関係性—中学生を対象とした学年間比較による検
討—
- 11 : 20～11 : 50 ○藤井 基貴（静岡大学） / 加藤 弘通（北海道大学） / 鈴木 澄礼（静岡大学・学生）
「防災道徳」授業における生徒の思考変容—ワークシート記録の分析から—

第5分科会

司会 : 木原 一彰（鳥取県鳥取市立面影小学校）

【工学部1階 105 教室】

- 9 : 00～ 9 : 30 佐藤 淳一（東京都町田市立相原小学校）
「教材を吟味する」とは？—教材と児童を繋げる教材研究と発問づくり—
- 9 : 35～10 : 05 ○鈴木 希実（北海道大学大学院・院生） / 藤井 基貴（静岡大学） / 加藤 弘通（北海道
大学）
哲学対話を導入した「特別の教科 道徳」の授業実践に関する一考察
- 10 : 10～10 : 40 古市 剛大（岡山県赤磐市立桜が丘小学校）
哲学的思考を取り入れた教材研究・授業づくり
- 10 : 45～11 : 15 鈴木 賢一（愛知県弥富市立十四山東部小学校）
教材の特質を生かしたねらいと考えが深まる発問構成をつくる—授業構想シートの活用を
通して—
- 11 : 20～11 : 50 ○吉田 誠（山形大学） / 神保 秀太郎（山形大学附属中学校）
「生徒が自ら問いを創造する道徳授業」の実現にむけた移行モデルの提案1—「ねらいの8
類型+探究の太陽」を用いた視点自覚型授業の実践と検証—

第6分科会

司会 : 林 敦司（兵庫大学）

【工学部1階 106 教室】

- 9 : 00～ 9 : 30 山本 理恵（千葉県山武市立山武北小学校）
道徳教育が問いかける「多文化共生」への可能性—「道徳教育」が支える「多文化共生ス
クール・多文化共生コミュニティ」の実践—
- 9 : 35～10 : 05 藤原 悠太（静岡県熱海市立初島小学校）

	極小規模校における道徳授業の在り方に関する一考察
10:10～10:40	居林 晃一郎（京都府京都市立川岡小学校） 川岡小学校道徳科の授業づくり～シンプル&セオリー～
10:45～11:15	及川 仁美（岩手県盛岡市立厨川中学校） 社会につながる道徳科授業づくりー共生社会を考える授業のあり方についてのー一考察ー
11:20～11:50	山田 貞二（岐阜聖徳学園大学） ゲスト道徳における深化発問に関する一考察

第7分科会	司会： 渡邊 真魚（日本大学）	【工学部1階 111 教室】
9:00～9:30	中村 昌宏（東京学芸大学附属特別支援学校） 特別支援学校における道徳授業の指導法について	
9:35～10:05	大橋 立明（新潟県長岡市立山本中学校） 「二つの意見」を用いた道徳授業モデルの効果の検証 IVー書くことが困難な生徒への支援の効果についてー	
10:10～10:40	○真壁 佑輔（北海道札幌市立上野幌中学校） / 根岸 良久（北海道札幌市立茨戸小学校） / 安井 政樹（札幌国際大学） 授業記録の作成を支援するアプリ「カッシート」の開発	
10:45～11:15	中野 啓明（新潟青陵大学） 「振り返り」の記録のデータベース化による評価システムの予備的開発	

第8分科会	司会： 白木 みどり（金沢工業大学）	【工学部2階 201 教室】
9:00～9:30	丸岡 慎弥（立命館小学校） 道徳授業実践を語り合う教師は何を得ているのかー実践発表交流の効果をさぐるー	
9:35～10:05	大舘 昭彦（千葉県流山市立南部中学校） 道徳科における今日的課題ー教科化後の教員養成におけるー一考察ー	
10:10～10:40	菅原 友和（上越教育大学上廣道徳教育アカデミー） 大学教員が学校現場で行う道徳科の研修についてのー考察ー派遣事業における示範授業と講話による研修の成果と課題ー	
10:45～11:15	範 蘭心（東京学芸大学） 道徳授業の現状や課題に対する教師の考えと、これからへの期待ー小・中学校教員対象調査の結果からー	
11:20～11:50	伊住 継行（岡山大学） 教員を対象とした道徳科授業研修での学びに関する事例研究	

第9分科会	司会： 堀田 竜次（国立教育政策研究所）	【工学部3階 301 教室】
9:00～9:30	前田 明彦（鳥取大学附属小学校） 自分事として考える道徳科の授業づくりー問いをもって探究する子どもを育てるー	
9:35～10:05	末廣 彩華（大阪教育大学附属池田小学校） 子どもが自らと出会い直す道徳科の実践ー自己理解と生き方見つけー	
10:10～10:40	由良 健一（奈良女子大学附属小学校） 子どものおたずねを軸にした道徳科授業Ⅷーめあてとおたずねを通した個別最適な学びと協働的な学びの一体化ー	

- 10 : 45～11 : 15 佐々木 篤史 (弘前大学教育学部附属中学校)
道徳科 DX から道徳科 AX へー生成 AI を活用した道徳科授業づくりと道徳科授業の可能性ー
- 11 : 20～11 : 50 安井 政樹 (札幌国際大学)
生成 AI 倫理を育む道徳学習に関する教員の意識調査

第 10 分科会

司会 : 木下 美紀 (福岡県福津市立福間南小学校)

【 工学部 3 階 302 教室 】

- 9 : 00～ 9 : 30 磯部 光泰 (千葉県富津市立富津小学校)
ネガティブ・ケイパビリティは資質・能力に位置づけられるカービオンの精神分析理論を手がかりにしてー
- 9 : 35～10 : 05 森 美香 (千葉大学)
小学校道徳科における学び方指導の工夫
- 10 : 10～10 : 40 山田 美香 (名古屋市立大学)
台湾の実験教育 (学校形態) における道徳教育
- 10 : 45～11 : 15 ○シルヴァ, ソニア (立教大学) / 和井内 良樹 (宇都宮大学) / 上原 秀一 (宇都宮大学)
フランスの子どもは教材「手品師」をどう読んだかー道徳教育の日仏比較に向けた試みー

第 11 分科会

司会 : 高宮 正貴 (大阪体育大学)

【 工学部 1 階 13 教室 】

- 9 : 00～ 9 : 30 那倉 康知 (兵庫県淡路市教育委員会)
きれいごとで終わらせない道徳の授業づくり その 2
- 9 : 35～10 : 05 瀬戸山 千穂 (群馬県前橋市立粕川中学校)
内容項目理解を促す構造図と授業づくりに関する一考察
- 10 : 10～10 : 40 浅部 航太 (東京学芸大学)
道徳性の諸様相の新たな枠組みの提案ー近年のレビュー論文の統合的検討を通してー
- 10 : 45～11 : 15 坂本 哲彦 (山口大学)
2 つの価値の関係を追究する道徳科授業の単元化

■ シンポジウム (13 : 00～15 : 30)

会場 : 講堂

- テーマ : 道徳科の効果的な指導法の探究ー学習指導要領改訂の動向をふまえてー
- コーディネーター : 柳沼 良太 (岐阜大学)
- シンポジスト : 古見 豪基 (埼玉県和光市第四小学校)
森 有希 (高知大学)
早川 三根夫 (前岐阜市教育長、岐阜大学)
貝塚 茂樹 (武蔵野大学)

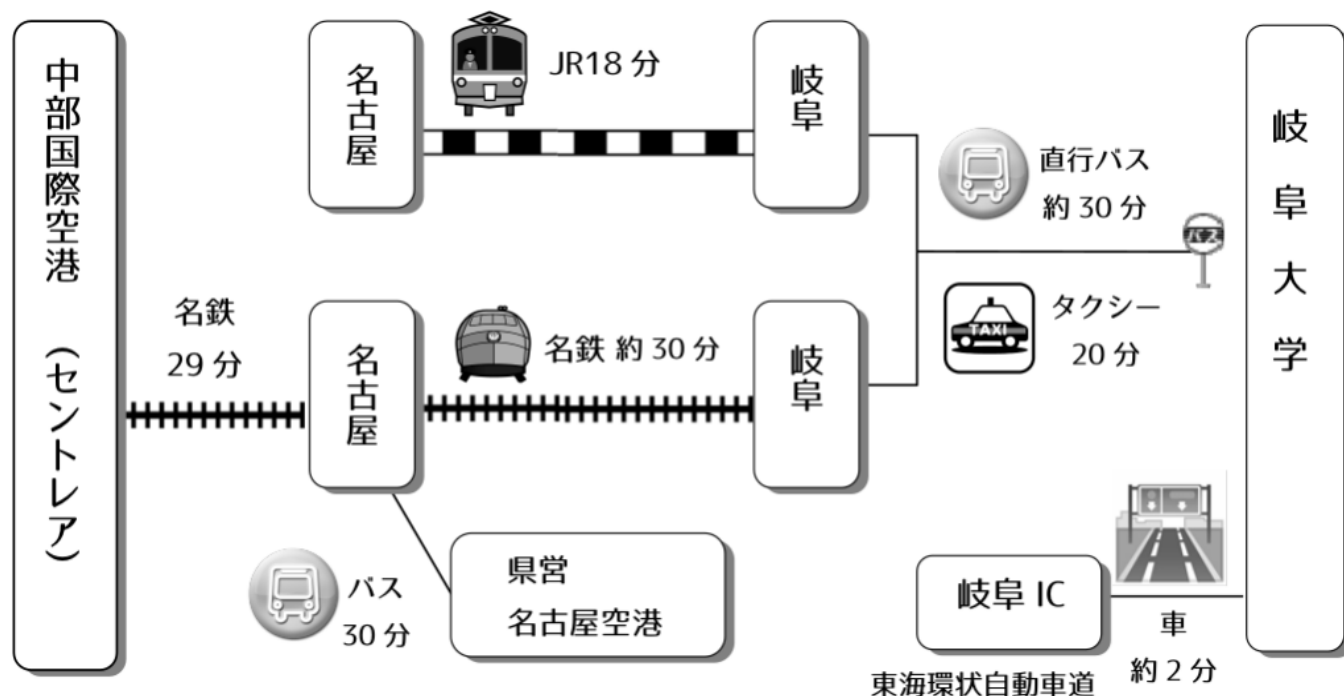
■ 閉会行事 (15 : 40～16 : 00)

会場 : 講堂

- 次回開催校挨拶 小池 孝範 (第 107 回大会 (駒澤大学) 運営委員長)
- 副会長挨拶 西野 真由美 (日本道徳教育学会副会長)

会場までのアクセス

＜岐阜大学までのアクセス＞



■最寄り駅からのバス

J R岐阜駅・名鉄岐阜駅からは以下の2系統が利用できます。そのうち、直行バス、清流ライナーおよび岐阜大学・病院線（忠節経由）は所要時間が短いので、大変便利です。

駅から大学への直行バスで約30分です（所要時間はおおよその目安であり、交通事情により異なる場合がありますので、余裕を持ってお越し下さい）。

J R岐阜駅 [9番/11番のりば]	岐大ライナー(直行便) 清流ライナー ※2 岐阜大学・病院線 C70 系統 (時刻表)	約30分/360円	構内最寄りのバス停下車
	名鉄岐阜駅 [4番/5番のりば] ※1	岐南町線 N37 系統 (時刻表)	

※1 名鉄岐阜駅からは便により乗り場が異なります。時刻表にて乗り場をご確認ください。

※2 清流ライナーおよび直行バスは主要バス停以外には停車しません。出発するバス停や停車するバス停をよくお確かめの上、ご利用ください。

●岐阜大学・病院線（バス系統C70）：所要時間約40分、360円

JR岐阜駅前～名鉄岐阜駅前～（忠節橋経由）～岐阜大学～岐阜大学病院

乗車バス停名：JR岐阜駅（北口）バスロータリー9番のりば

乗車バス停名：名鉄岐阜駅5番のりば



岐阜大学までのアクセス

●**岐阜大学・病院線 清流ライナー（バス系統C71）**：所要時間約 35 分，360 円

JR 岐阜駅前～（忠節橋経由）～岐阜大学～岐阜大学病院

（清流ライナーは主要バス停以外には停車しません）

乗車バス停名：JR 岐阜駅（北口）バスロータリー 9 番のりば

●**岐阜大学・病院線 岐大ライナー直行便（バス系統C72）**：所要時間約 30 分，360 円

名鉄岐阜駅前～JR 岐阜駅前～（忠節橋経由）～岐阜大学病院～岐阜大学

（直行バスは主要バス停以外には停車しません）

乗車バス停名：JR 岐阜駅（北口）バスロータリー 9 番のりば

●**岐南町線（バス系統N37）**：所要時間約 40 分，360 円

岐南町三宅～JR 岐阜駅前～名鉄岐阜駅前～（長良橋経由）～長良北町～岐阜大学～岐阜大学病院

乗車バス停名：JR 岐阜駅（北口）バスロータリー 11 番のりば

乗車バス停名：名鉄岐阜駅 4 番のりば

■**岐阜大学周辺のタクシー会社** ＜参考＞所要時間約 25 分、3,500 円程度。

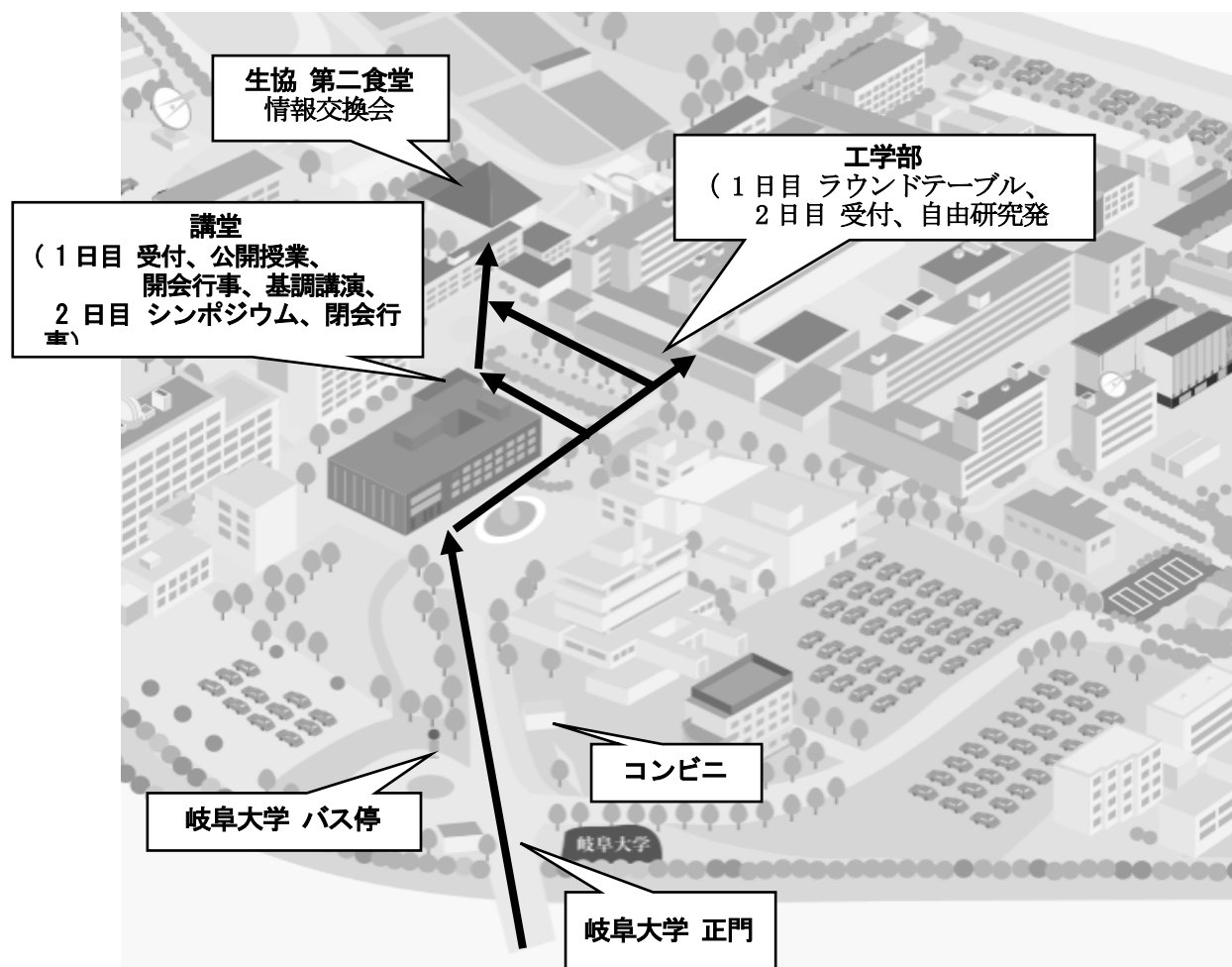
日 本 タ ク シ ー 058-246-1212

日 の 丸 タ ク シ ー 058-240-1111

岐阜交通東部株式会社 058-268-2100

岐阜名鉄タクシー株式会社 058-245-3005

岐阜大学 案内図



大会への参加にあたって

■申込方法・参加費納入方法（発表等申し込まれた会員も参加申込が必要です）

日本道德教育学会のホームページ、または右のQRコードからPeatixのサイトに入ってください、「大会への参加申込」からお申し込みください。

大会参加の申込は、9月20日（土）から11月16日（日）17:00までです。



<https://moraleducation106.peatix.com/view>

なお、大会当日の参加申込は、原則的にできません。事前申込にご協力ください。

また、入会手続きのない会員及び年会費未納の会員は、発表資格がございません。ご注意ください。

■大会受付

11月29日（土）9時30分から、講堂1階のエントランスで受付を行ってください。

ネックストラップの参加証をお受け取りください。参加費等の領収証が入っています。

11月30日（日）8時30分から、工学部1階ロビーで受付を行ってください。

■発表用資料

発表者各自で50部程度ご用意ください。

■宿泊先について

宿泊先については、会員各自で手配するようにお願いいたします。観光等の宿泊により宿泊客の増加が予想されます。早めの予約をお勧めいたします。

■昼食について

昼食については、会員各自でご用意ください。お弁当は1,200円で両日とも予約を受け付けておりますので、Peatixで大会参加費等と一緒に納入してください。両日とも学内の生協は営業していません。また、岐阜大学の正門近くにコンビニエンスストア（ミニストップ）がありますが、混雑が予想されますのでご注意ください。

■情報交換会

情報交換会の参加費は、6,000円になります。Peatixで大会参加費と同時に納入してください。会場は、岐阜大学の生協第二食堂です。

■ラウンドテーブル及び自由研究発表会場の施設・設備

パソコンを使用する場合は、各自でご持参ください。全会場ともパソコンの接続は、HDMI・RGB接続が可能です。変換アダプタ等は必ず各自でご用意ください。

キャンパス無線LANは、学外の方はご利用いただけません。ただし、ご希望の方には、キャンパス無線LANをご利用いただける eduroam のアカウントとパスワードを発行いたしますので、大会受付にてお問い合わせください。

■その他

大会期間中は、クローク等は設置していません。基本的には、荷物は各自で管理するようお願いいたします。ただし、ご不便を感じられる場合には、どうぞご遠慮なく、事前もしくは当日に受付にてご相談ください。

お車で越しの方は、校門ゲートのインターフォンで、「日本道德教育学会第106回大会に参加する」と伝えますと、無料で大学構内の駐車場に入ることができます。